

# ビッグバンドならではの迫力ある演奏が魅力



楽団四季 Jolly forest Jazz orchestra  
(ジョリーフォレストジャズオーケストラ)

ぬまた まさひで  
沼田真秀 さん

「メンバーはみんな仲が良いんです」  
と笑顔で話す沼田さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
Minole Life  
のすすめ  
No.167

今年も梅雨の季節がやってきました。雨粒の形を知っていますか？なみだ型だと思っ  
ていましたが、実は肉まんの形をしています。少しだけ雨の日が楽しくなりますね。晴れ間が待ち遠しいこの季節は体調を  
崩しやすいので気をつけてください。今回は、楽団四季 Jolly forest Jazz orchestra（  
通称ジョリフォレ）のメンバーで土浦市にお住まいの沼田真秀さん取材します。

沼田さんにジョリフォレに入  
団したきっかけを聞いてみまし  
た。「牛久の吹奏楽団でジョリ  
フォレのメンバーの瓜生さんに  
声をかけてもらいました。入団  
してトランペットを担当して10  
年くらいになります。ジョリフォ  
レは皆さんが仲が良いので居心  
地がいいです」と話してくれま  
した。

トランペットとの出会いは高  
校を卒業してからと話す沼田さ  
んは、「弦楽器をやっている友達  
に誘われ、僕は管楽器を始めま  
した。トランペットを選んだ理  
由は、金管楽器の中で一番小さ  
くてやりやすいと思ったからで  
す。選んで良かったと思うけど、  
難しい楽器ですね。1オクター  
ブ出せるようになるには1ヶ月  
くらいかなり大変でした。普段  
は使わない顔の筋肉を使うので  
筋肉痛になり、口が閉じなくな  
ることもありました。今でも時  
間がなくて吹けないときは筋肉  
痛になりますね」と話してくれ

ました。

ジョリフォレに入団して、初  
めて自主公演に出演したときの  
エピソードやこれからの公演に  
ついて聞いてみると、「初めての  
公演は緊張あまり記憶がない  
のですが、準備するときから楽  
しかったですね。もちろん、演  
奏中も楽しかったです。ソロで  
演奏するとき、アドリブの人も  
いますけど僕は緊張してしま  
うので楽譜を書きます。コロナ禍  
が落ち着いたら、ビッグバンド  
ピクニック in 笠間の野外ステ  
ージや、ひたちビッグバンドフェ  
スティバルで皆さんの前で演奏  
できたらいいなと思っています」  
と笑顔で話してくれました。

もともと学生の頃からクラ  
シックやグリーンミラーのジャズ  
をよく聴いていた沼田さんです  
が、ジョリフォレに入団してか  
らはよりジャズを聴く機会が多  
くなったそうです。「コロナ禍で  
思うように合奏ができなかつた  
り、団の方針でホールが空いて

いるときだけ練習、という決ま  
りがあるので思うようにいかな  
いこともありませう。長くトラン  
ペットを吹けなかった時間もあ  
りましたが、だからこそ、一度  
リセットして初心に戻って練習  
しました。それまでは変な癖も  
ついていたので前に比べて少し  
吹きやすくなったかなと思いま  
す。実際に合奏してみないと分  
からないところもありますけど  
ね」と話します。

最後にジョリフォレの魅力に  
ついて聞いてみました。「ジョリ  
フォレはビッグバンドなので、  
吹奏楽にはないスピード感や、  
迫力ある演奏をできるところが  
魅力です。他のパートと合わせ  
たり、合いの手を打ったり、ソ  
ロでは味わえない一体感も味わ  
えます」と話していました。

また以前のようにたぐさんの  
人たちが演奏を聴いて、心が豊  
かになる日が戻ってくると思い  
です。

(藤田佐知子)